

次世代果樹生産システム構築プロジェクト研究への提案

わが国の果樹栽培は生産者の高齢化が急速に進み、後継者の不足と販売価格の低迷から産地を維持、活性化するための大幅な省力、コスト削減など、新たな着想による栽培方法の開発が急務である。

これら問題を**一気に解決する**研究開発として

仕立てが単純で栽培管理が容易な
ジョイント栽培の特性をフル活用し

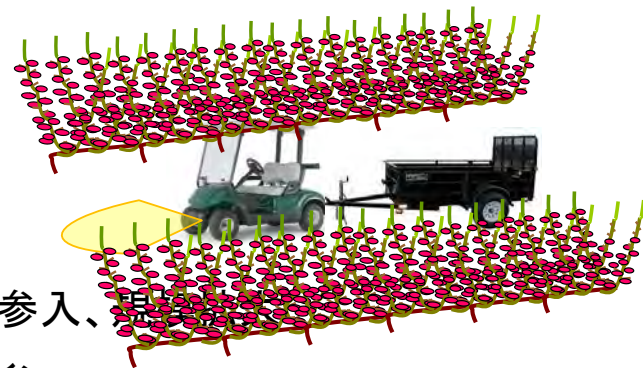
- ①様々に異なる果樹の**樹形を統一**
- ②せん定等の栽培管理を大幅に簡易、標準化

同時に

- ③統一化した単純樹形に合わせ**省力化機械を開発**

これにより、果樹栽培の生産効率の大幅な向上と軽労化、新規参入、**果樹栽培の促進**や高齢者でも長く果樹栽培に従事できる労働環境を整備し、

作業機械と栽培技術が調和した 新しい果樹生産システムを実現する！



人口減、高齢化の中でわが国の果樹農業は・・・

傾斜地 → 平坦地

水田

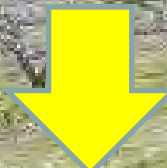
大規模化・企業参入

機械化・ロボット化



日本の美味しい
果実を輸出！

5年後に、わが国の主要果樹において、労働時間の40%削減と
軽労化、栽培管理を支援する自動化機械を開発し、大規模化や
高齢者でも長く果樹栽培に従事できる生産システムを構築



10年以内には、自動収穫ロボットも開発され、
10ha規模の次世代型大規模果樹経営を実証

大規模化や高齢者でも長く果樹栽培に従事できる
次世代果樹生産システムの構築